

# タルボサウルスの改修および移設について

## 1 経緯

常設展示リニューアルにおいて、当館の恐竜展示エリアの軸足でもあるアジアの恐竜研究の入り口としての印象を深めるため、恐竜骨格の配置の検討を行った。

その中で、アジアを代表する肉食恐竜であるタルボサウルスと、同時代の巨大草食恐竜であるサウロロフスを恐竜ホールの心臓部に移設し、ティラノサウルスロボと合わせて、象徴的な恐竜を並べることで、来場者への強烈なファーストインプレッションが期待できるとともに、アジアの恐竜の玄関口としてふさわしい意味を持たせる。

移設先のスペースの都合上、姿勢を変更する必要があったため、ただ収まるようにするだけでなく、最新の研究成果を踏まえた躍動感あふれる姿勢への改修を行った。

## 2 タルボサウルスについて

- (1) 学名 *Tarbosaurus bataar* タルボサウルス・バタール
- (2) 分類 獣脚類 ティラノサウルス類
- (3) 時代 後期白亜紀 (約7,000万年前)
- (4) 全長 10.5 m
- (5) 発見場所 アジア
- (6) その他 ティラノサウルスと近縁なアジア最大の肉食恐竜。  
ティラノサウルスと比べると頭部の横幅は少し狭くなっているが、手の指が2本しかないなど、類似した特徴を持つ。

## 3 変更点

- (1) 頭部を下げ左に向ける  
従来は頭部を上げて右を向いていたが、より印象的な展示となるよう頭部を来館者の目線に近づけた。
- (2) 胴椎を2つ追加  
不足していた胴椎(胴体の背骨)を追加した。
- (3) 肋骨の配置を修正し不足分を追加  
肋骨の配置を近縁種と比較するなどして再検討し、後方に配置されていた長い肋骨を前方に移動するなど修正した。また、胴椎が増えた分の肋骨を追加した。
- (4) 後肢の趾骨を追加し、より躍動的な姿勢にする  
反対側に設置予定の草食恐竜サウロロフスに襲いかかる場面を想定し、右後肢を蹴り上げた瞬間を再現するなど、より躍動的な姿勢に変更した。
- (5) 尾を上げる  
躍動的な前傾姿勢への変更に伴い、尾の位置が相対的に高くなった。

参考：従来の骨格写真

